

様式 1

環境保全行動  
自動車使用管理 計画提出書

2022 年 11 月 30 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住所	〒 140-0013 東京都品川区南大井6丁目22番7号
氏名	DCM株式会社
(代表者名)	代表取締役社長 石黒 靖規
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	

札幌市生活環境の確保に関する条例に基づき、環境保全行動計画を策定しましたので、次のとおり提出します。

事業の概要		56 各種商品小売業					
事業の規模	従業員数	1,445	人	原油換算した		4127.8	kl
	使用床面積	139,706	m <sup>2</sup>	燃料・熱・電気の合計量			
	事業所数	26	事業所	自動車使用台数		58	台
	温室効果ガス排出量 (二酸化炭素換算排出量)	エネルギー起源CO <sub>2</sub>	9,250	t-CO <sub>2</sub>	メタン	t-CO <sub>2</sub>	N <sub>2</sub> O
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>			t-CO <sub>2</sub>	PFC	t-CO <sub>2</sub>	SF <sub>6</sub>	t-CO <sub>2</sub>
提出根拠		条例第 1 3 条 (環境保全行動計画)				<input type="checkbox"/> 第 1 項 <input type="checkbox"/> 第 3 項	
		条例第 2 3 条 (自動車使用管理計画)				<input type="checkbox"/> 第 1 項 <input type="checkbox"/> 第 2 項	
計画期間		2022	年	4	月	1	日
環境保全行動 自動車使用管理 計画書		別添のとおり					
備考	環境マネジメントシステムの 認証登録の有無及びその種類	<input type="checkbox"/> 有 (認証名 ) <input type="checkbox"/> 無					
	その他						

- 注 1 事業の概要は、事業所における日本標準産業分類の中分類項目に掲げる業種及びその業種に対応する日本標準産業分類における分類番号を記入してください。
- 2 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、4月1日現在で記入してください。
- 3 事業所数は、4月1日現在の札幌市内事業所数を記入してください。
- 4 燃料・熱・電気の合計量は、計画期間の初年度の前年度に使用した量を原油換算して記入してください。
- 5 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則第4条に規定する方法で行ってください。
- 6 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。
- 7 のある欄には、該当する内にレ印を記入してください。
- 8 環境マネジメントシステムの認証登録がある場合は、認証登録の範囲が分かる書類の写しを添付してください。

1 基本的な方針

省エネルギー・省資源型の店舗設置と運営を実施します。  
 リサイクル活動を推進し、廃棄物を極力持ち込まない・出さない仕組みを作ります。  
 環境に関する法律と規則を遵守し、環境汚染に繋がる行為はしません。  
 社員一人一人が環境問題について考え、行動していけるように教育と体制を整備します。  
 年度毎の環境目標を定め、その達成状況を確認し、継続的な改善活動を実施します。  
 環境に関する活動を社員、社会に広く情報公開します。

2 行動目標

【計画期間】

2022年 4月 1日～ 2025年 3月 31日

行動目標	基準数値		目標削減率	目標数値		基準数値の設定根拠	削減項目
	数値	単位		数値	単位		
事業活動に伴う二酸化炭素排出量の削減	9,810	t-co2	0 %	9,810	t-co2	2021年度実績	電力、都市ガス 天然ガス、LPガス
自動車の使用に伴う二酸化炭素排出量の削減	180	t-co2	0 %	180	t-co2	2021年度実績	ガソリン、軽油
			%				
			%				
			%				
			%				

- 注 1 目標削減率は、基準数値（二酸化炭素排出量等）に対する削減率です。任意で設定してください。
- 2 目標数値は、基準数値と目標削減率から算出してください。
- 3 自動車使用管理計画策定義務を負う事業者は、自動車の使用に伴う二酸化炭素排出抑制に関する目標を必ず設定してください。
- 4 基準数値の設定根拠には、基準年等を記入してください。